

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 23 年 10 月 7 日  
東京電力株式会社

## <タービン建屋地下のたまり水の処理>

### ◇高濃度の放射性物質を含むたまり水の処理設備及び貯蔵設備の状況

#### [処理設備]

- ・6/17 20:00 放射性物質除去装置の本格運転を開始。
- ・6/24 12:00 淡水化装置(逆浸透膜型)における処理を開始。
- ・6/27 16:20 循環注水冷却を開始。
- ・8/7 16:11 蒸発濃縮装置の本格運用を開始。
- ・8/19 19:33 第二セシウム吸着装置(B系ライン)を起動し、セシウム吸着装置および除染装置との並列運転によるたまり水の処理を開始。19:41 定常流量に到達。
- ・10/4 11:38 廃液処理水タンク内の水を浄化するため、除染装置の単独循環運転を開始\*。  
※ 9/15 に除染装置の処理後に処理水の放射性物質濃度が上昇していることを確認し、同装置を停止した件について、その後の調査の結果、原因は攪拌機取り替えのために一次反応槽の水抜きを実施した際、高線量のスラッジ水が廃液処理水タンクに流入したことによるものと推定し、対応するもの。
- ・10/6 淡水化装置(以下、RO)において、廃液RO供給ポンプ出口逆止弁の配管継ぎ手部から水のにじみを確認したため、9:58 頃、RO(2)および(3)を手動停止。その後、にじみ箇所を修理し、13:01 RO(2)および(3)を再起動。

#### [貯蔵設備]

- ・6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付中。

### ◇トレンチ立坑・各建屋地下のたまり水の移送状況

号機	排出元→移送先	移送状況
2号機	・2号機タービン建屋* →集中廃棄物処理施設[雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)] ※排出元を立坑からタービン建屋へ変更	・10/6 13:48～ 移送実施中
3号機	・3号機タービン建屋→集中廃棄物処理施設[雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]	・9/30 10:00～ 移送実施中
6号機	・6号機タービン建屋→仮設タンク	・10/7 10:00～16:00 移送実施

移送先	移送先の水位状況 (10/7 7:00 時点)
プロセス主建屋	水位: O.P.+ 3,478 mm(水位上昇累計:4,695 mm) 10/6 7:00 から 206 mm 下降
雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)	水位: O.P.+ 2,251 mm(水位上昇累計:2,977 mm) 10/6 7:00 から 2 mm 上昇

### ◇トレンチ立坑・タービン建屋・原子炉建屋の水位 (10/7 7:00 時点)

	トレンチ立坑	タービン建屋	原子炉建屋
1号機	O.P.<+ 850 mm (10/6 7:00 と同じ)	O.P.+ 4,952 mm (10/6 7:00 から 2 mm 上昇)	O.P.+ 4,562mm (10/6 7:00 から 136 mm 上昇)
2号機	O.P.+ 2,870 mm (10/6 7:00 から 31 mm 上昇)	O.P.+ 2,915 mm (10/6 7:00 から 28 mm 上昇)	O.P.+ 2,990 mm (10/6 7:00 から 26 mm 上昇)
3号機	O.P.+ 3,331 mm (10/6 7:00 から 32 mm 上昇)	O.P.+ 3,137 mm (10/6 7:00 から 30 mm 上昇)	O.P.+ 3,275 mm (10/6 7:00 から 24 mm 上昇)
4号機	—	O.P.+ 3,123 mm (10/6 7:00 から 25 mm 上昇)	O.P.+ 3,144 mm (10/6 7:00 から 30 mm 上昇)

【3号機】・10/3 10:59～ 復水器からタービン建屋地下への溜まり水の移送を開始。

## <放射性物質のモニタリング>

### 海水核種分析結果(参考値)

- ・10/6 に採取した福島県沿岸 4 地点,10/4~10/5 に採取した茨城県沖合 5 地点の主要3核種(ヨウ素-131, セシウム-134,137)は全てND。

## <使用済燃料プールの冷却> (10/7 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中(8/10 11:22~)	23.5 °C
2号機	循環冷却システム	運転中(5/31 17:21~)	27.0 °C
3号機	循環冷却システム	運転中(6/30 18:33~)	25.3 °C
4号機	循環冷却システム	運転中(7/31 10:08~)	33 °C*

※4号機使用済み燃料プール温度については作業にて監視カメラを停止している為、7時のデータを掲載。

【4号機】・8/20~ 使用済燃料プール塩分除去装置の運転を開始。

10/7 10:32~12:32 腐食防止剤(ヒドラジン)を注入。(約2m<sup>3</sup>)

## <原子炉压力容器への注入・原子炉の状況> (10/7 11:00 時点)

号機	注入状況	給水ノズル温度	原子炉压力容器下部温度	原子炉格納容器圧力
1号機	淡水注入中 (給水系:約 3.8 m <sup>3</sup> /h)	72.2°C	74.4°C	121.4 kPaabs
2号機	淡水注入中 (給水系:約 3.7 m <sup>3</sup> /h, 炉心スプレイ系:約 7.1m <sup>3</sup> /h)	80.8°C	88.0°C	112 kPaabs
3号機	淡水注入中 (給水系:約 2.2 m <sup>3</sup> /h, 炉心スプレイ系:約 8.1m <sup>3</sup> /h)	72.4°C	74.9°C	101.5 kPaabs

【2号機】・10/6 17:38 原子炉への給水系からの注水量を約 3.4 m<sup>3</sup>/h→約 3.8 m<sup>3</sup>/h に調整。

【4号機】【5号機】【6号機】 特に変化なし。

## <その他>

- ・4/10~ 作業環境改善として遠隔操作による屋外の瓦礫撤去を継続実施中。
- ・6/3~10/4 港湾関連施設の復旧工事を実施。
- ・6/28~ 1号機原子炉建屋カバー設置に向けた本体工事実施中。
- 8/10~ 9/9 1号機原子炉建屋カバー鉄骨組立を実施。
- 9/10~ 1号機原子炉建屋カバーのパネルの取付を実施中。
- ・10/6 2号機原子炉格納容器への窒素封入量が増加(約 17m<sup>3</sup>/h)していることが確認されたため、12:30 元の封入量へ調整(約 13.5m<sup>3</sup>/h)。
- ・10/6 13:41~14:07 6号機補助冷却海水系ポンプのヘッド圧力に緩やかな低下傾向がみられたことから、ポンプを一旦停止。再起動後、圧力が復帰したことを確認。
- ・10/6 14:13~15:47 3号機原子炉建屋上部のダストサンプリングを実施。
- ・10/7 11:44~14:03 1号機原子炉建屋内機器ハッチ開口部および大物搬入口内のダストサンプリングを実施。
- ・10/7 6号機残留熱除去系海水ポンプ(C)において流量の低下傾向が確認されたため、11:55 に残留熱除去系(A系)を停止。  
残留熱除去系海水ポンプ(C)と残留熱除去海水系統の点検した結果、異常がないことを確認し、12:41 残留熱除去系(A系)による原子炉の冷却を再開。
- ・10/7 14:06~15:50 伐採木の自然発火防止や粉塵の飛散防止を目的として、5, 6号滞留水浄化後の水を利用し散水を実施。